

あなたに知ってほしい

お酒の話



NO!



NO!



平成30年3月改訂版

作成 島根県立心と体の相談センター

協力 公益社団法人島根県断酒新生会 山陰嗜癮行動研究会



将来の自分の健康を守るため
最初の一杯を防ごう!



未成年者の飲酒にはこんな害があります!

脳の機能を低下させる!!



成長の途中にある未成年者の脳はアルコールの影響を受けやすく、未成年の時期にお酒を飲むと、脳の細胞をこわし、記憶力や判断力、思考力、意欲といった勉強に必要な力の低下につながります。

臓器がダメージを受ける!!

未成年者は、お酒に含まれるアルコールを分解する力が弱い
ため、アルコールの毒性によるダメージを受けやすく、大人と
くらべて短期間で様々な臓器の障がいが起こる危険性が高まり
ます。

性機能に悪影響!!

性ホルモンに異常が起き、男性は勃起障がい、女性は生理不
順や無月経になるおそれがあります。

アルコール依存症になる!!

未成年の時期から飲酒習慣があると、**アルコール依存症**にな
りやすいと言われています。しかも、短期間で依存症になるこ
とが知られています。



法律で
禁止されて
います!

未成年者の飲酒は、心や体に深刻な悪影響を与
えるため、未成年者の飲酒は法律によって、禁止
されているのです。(未成年者飲酒禁止法)

豆知識①

「アルコール依存症って?」

- お酒を自分の力でコントロールできなくなっている状態をいいます。
- 意思の弱さの問題ではなく、「病気」であり治療や周囲のサポートが必要です。

【アルコール依存症にいたる流れ】



豆知識②

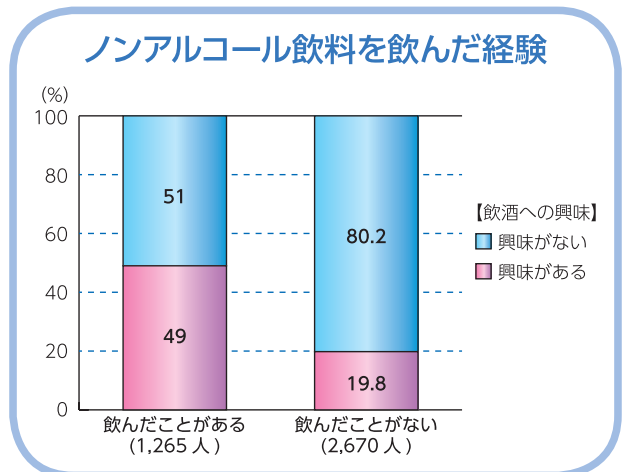
「ノンアルコール飲料は飲んでも良いの?」

※ノンアルコール飲料とは、「アルコール分が含まれない、もしくは1%未満のアルコール分を含むアルコール風味の飲料」のことをいいます。

【ノンアルコール飲料は飲まない方が良いです】

島根県の調査(※)では、ノンアルコール飲料を飲んだことがある児童生徒ほど飲酒へ興味をもつ児童生徒が多く、更に飲酒への興味がある児童生徒ほど、未成年者の飲酒に対して問題意識が低いことが分かっています。

ノンアルコール飲料を飲みたくなったときは、ぜひ「なぜ飲んでみたいのか?」を考えてみてください。「ノンアルコール飲料を飲んでみたい理由(例:どんな味が知りたい、大人の気分を味わってみたいなど)」は、「本物のお酒を飲んでみたい理由」につながっていきます。



※平成29年度「未成年者の飲酒・喫煙防止についての調査」

島根県が、県内の小学校5年生・6年生、中学2年生、高校2年生の4,244名を対象に調査を実施し、4,081名から有効回答を得た。

～身近な大人の皆様へ～

子どもたちの飲酒には身近な大人が関わっている傾向があります

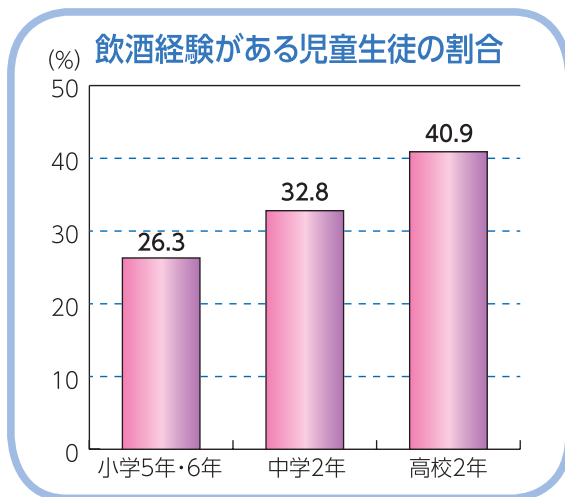
※平成 29 年度「未成年者の飲酒・喫煙防止についての調査」

島根県が、県内の小学校 5 年生・6 年生、中学 2 年生、高校 2 年生の 4,244 名を対象に調査を実施し、4,081 名から有効回答を得た。

調査結果①

「お酒を飲んだことがありますか？」

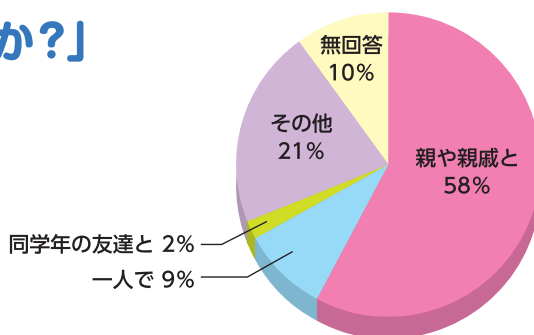
飲酒経験がある児童生徒の割合は減少傾向にありますが、全児童生徒の約 3 割は「飲酒経験がある」と回答していました。



飲酒経験がある児童生徒の状況

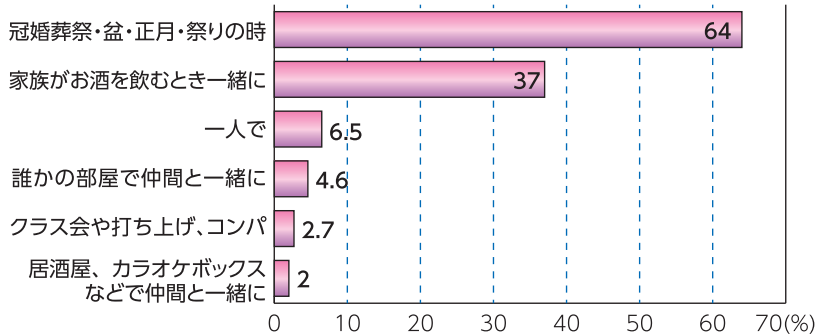
調査結果②「誰とよくお酒を飲みますか？」

飲酒経験がある児童生徒の約 6 割が、「よく飲む相手」として、「親や親戚」と答えていました。



調査結果③「どんなときにお酒を飲んだことがありますか？」

飲酒の機会は、「冠婚葬祭・盆・正月のとき」といった特別な行事や、「家族がお酒を飲むとき一緒に」が多く、未成年者の飲酒には身近な大人が関わっている場合が多いことが分かりました。



未成年者の飲酒は、心や体に悪影響を与えるばかりでなく、将来の薬物乱用にもつながる恐れがあるとされています。私たち大人の「未成年者飲酒防止」の心がけが、子どもたちの将来の健康を守ることに繋がります。